

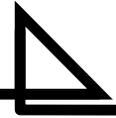
「持続可能な開発」のための

日本政府の具体的な行動

~ 地球規模の共有(グローバル・シェアリング)を目指して ~

平成14年8月21日

目次



1. 基本的考え方

2. 重点分野と具体的な取組

人間と希望 ～ 人づくり ～

自立と連帯 ～ 開発 ～

今日と明日 ～ 環境 ～

1. 基本的考え方

- ▶ 持続可能な開発の実現のためには開発と環境保護をともに達成する必要
- ▶ 全ての国・主体が、認識、戦略、責任、経験・情報を分かち合うべき
「グローバル・シェアリング」
- ▶ 日本は、途上国の自助努力を支援するための具体的取組を実施

2. 重点分野と具体的な取組

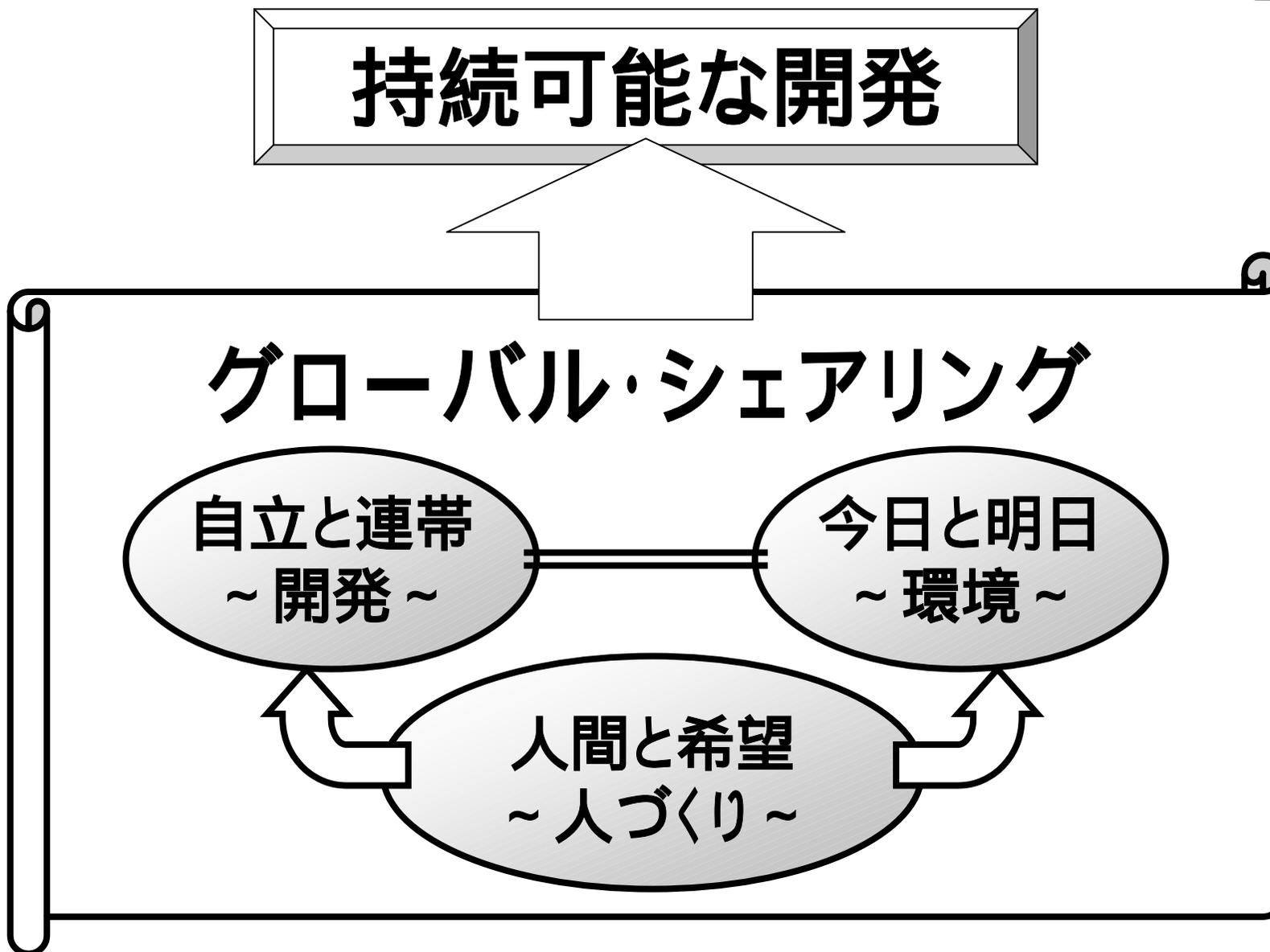
持続可能な開発

グローバル・シェアリング

自立と連帯
～開発～

今日と明日
～環境～

人間と希望
～人づくり～



人間と希望 ~人づくり~

持続可能な開発のためには、良い統治の下、市井の人々が希望を持ってその能力を最大限発揮することが不可欠。

そのためには、「人づくり」(教育、保健、ジェンダー)が重要。人への投資と知識・技術の共有が鍵。



人への投資 : 「人づくりは国造りの基礎」

- ✓ 「持続可能な開発のための教育の10年」を提唱
- ✓ 低所得国へ今後5年間で2500億円以上の支援
- ✓ 「成長のための基礎教育イニシアティブ(BEGIN)」の推進(女子教育等)
- ✓ 2000年から5年間で30億ドルの感染症対策イニシアティブ

知識

- ✓ 日本における公害とその克服経験、アジア諸国との協力の成功例等をアフリカ等と共有
- ✓ 東アジア開発イニシアティブ(IDEA)の推進

科学技術 : 開発と環境保護をともに達成するための突破口

- ✓ 地球観測・地球地図の活用を通じた地球環境のモニタリングの推進
- ✓ 環境科学技術協力

自立と連帯 ~ 開発 ~

途上国の自立的な成長を通じて、持続可能な開発と貧困削減の促進を図る(自立)ことが必要。そのために幅広い資源を動員(連帯)。



貿易・投資 : 「持続可能な開発」の実現のために、貿易、民間投資を促進

- ✓ 人材育成支援(2000年から5年間で2500人 4500人)
- ✓ LDC産品に対する無税無枠の市場アクセス供与努力
- ✓ 多角的投資規律の策定努力
- ✓ アフリカの多角的貿易体制(WTO)への参画促進

エネルギー : 効率的且つ環境と調和のとれた形での利用を推進

- ✓ 国際エネルギーフォーラム(9月、大阪)
- ✓ エネルギー理解促進イニシアティブの提唱・推進

農業・食糧 : 緑の技術革新を通じた食糧安全保障に貢献

- ✓ ネリカ米の開発・普及の推進
- ✓ 南部アフリカに対する食糧支援(約3000万ドル)

援助 : 過去10年で世界最大の援助(1200億ドル)。今後も積極的な役割

アフリカ : 「アフリカ問題の解決なくして21世紀の世界の安定と繁栄なし」NEPADを支持

- ✓ 「日本とアフリカとの連帯 - 具体的行動 - 」
- ✓ 「G8アフリカ行動計画」のフォローアップ努力
- ✓ TICAD の開催を通じた支援強化

今日と明日 ~ 環境 ~

人類存立の基盤を脅かす地球環境破壊の問題に今日取り組まなければ、
21世紀は暗い世紀となる。

途上国支援 : ODA中心の環境協力

- ✓ 「持続可能な開発のための環境保全イニシアティブ(EcoISD)」の策定・公表
- ✓ 2002年から5年間で5000人の人材育成
- ✓ 「愛・地球博」(2005年)

気候変動 : 全ての国が参加する共通のルール構築

- ✓ 京都議定書の速やかな発効を目指した働きかけをリード
- ✓ CDM推進のための人材育成や情報の共有

森林 : 森林の有する多面的な便益を踏まえ、持続可能な森林経営を促進

- ✓ 「アジア森林パートナーシップ」の提唱・推進
- ✓ コンゴ川流域における森林保全等に協力

生物多様性 : 絶滅の危機に瀕する生物種の保護、重要生態系の保全

- ✓ ホットスポット保全を積極化
- ✓ 「生物の安全性に関するカルタヘナ議定書」の早期締結努力

水 : 公衆衛生、農業、経済活動、自然環境の保護、防災等の観点から積極的に対処

- ✓ 過去5年間で4000万人以上に対し飲用水提供及び衛生的な下水道の普及の支援
- ✓ NGO、女性との連携強化
- ✓ 第3回世界水フォーラム(2003年3月)

環境関連条約

- ✓ POPs条約の速やかな発効を目指した働きかけをリード
- ✓ PIC条約の早期締結努力

